

# 「公私格差」が顕著

2022年歯科医師国家試験の合格率は61・6%と低調だった。学校別の合格状況では、国公立の合格率73・0%に対し、私立は58・0%となり、「公私格差」が顕著になった。

各大学の合格率をみると、国公立では岡山大学の81・0%を筆頭に、大阪大学80・7%、北海道大学79・6%と続く。最低は長崎大学の64・7%だった。

また、私立の場合、出願者数と受験者数が乖離する傾向にある。出願したのに受験しなかった割合(未受験率)では、私立の6人に一人(15・9%)が受験しなかった。卒業試験での不合格や体調不良などが考えられるが、国公立の未受験率1・8%と比べると異常に高い。

# 数字で見る 歯科国試

2022年歯科医師国家試験の合格率は61・6%と低調だった。学校別の合格状況では、国公立の合格率73・0%に対し、私立は58・0%となり、「公私格差」が顕著になった。

また、私立の場合、出願者数と受験者数が乖離する傾向にある。出願したのに受験しなかった割合(未受験率)では、私立の6人に一人(15・9%)が受験しなかった。卒業試験での不合格や体調不良などが考えられるが、国公立の未受験率1・8%と比べると異常に高い。

表 2022年歯科医師国家試験 合格者の状況 (上位5大学)

順位	大学名	総数				新卒		
		出願者数	受験者数	合格者数	合格率	出願者数	受験者数	合格者数
1	東京歯科大学歯学部	161	134	127	94.8%	153	126	121
2	昭和大学歯学部	125	118	96	81.4%	103	96	85
3	岡山大学歯学部	64	63	51	81.0%	51	51	46
4	大阪大学歯学部	57	57	46	80.7%	45	45	36
4	日本歯科大学新潟生命歯学部	66	57	46	80.7%	54	45	40



ウクライナ国旗をイメージした「戦争やめろ」のプラカードを掲げる役員・事務局＝5月3日、扇町公園

# 憲法生かす外交を

日本国憲法施行から75年を迎えた3日、大阪市北区の扇町公園で「輝け憲法！平和のちと人権を！おおさか総がかり集会」(主催「おおさか総がかり行動実行委員会」)が開かれ約3500人(主催者発表)が集まった。協会からは江原、玉川各理事らをはじめ役員・事務局11人が参加した。

NPO法人ピースポールの湯浅一郎代表は、ロシアのウクライナ侵攻に連れ、国際法に基づき即時停戦を訴えた。さらに、「軍事力に頼らない外交こそが市民の命を守る道だ」と呼びかけた。

立憲民主、共産、社民、れいわ新選組の野党4党の国会議員らが挨拶し、集会参加者らとともに、「戦争や

# 大阪の歯科医院で働きたい人のための 求人情報サイト

毎月15日更新  
 ▷府内中心の歯科求人情報  
 ▷スマホからの閲覧も可能  
 ▷費用は3カ月で1万円  
<http://osk-net.org/job/>

# 協会行事案内

参加ご希望の方は、必ず事前にお申し込み下さい。M&Dホールは保険医会館東隣りです。

# 【Zoom限定】歯科衛生士向け講習会抄録 北欧モデルの齲蝕予防の考え方

西真紀子氏 (NPO法人「最先端のむし歯・歯周病予防を要求する会」(PSAP) 理事長)

「北欧モデル」がいち早く齲蝕と歯周病予防に高い効果を見せていることは、疫学調査から明らかである。スウェーデンでは、1974年に予防中心型の歯科医療に転換した。それ以降に生まれた人たちは、喪失歯がほとんどないまま推移している。最新の数字では、2019年時点で3歳、6歳、19歳の力エスフリー率はそれぞれ95%、67%、42%であった。経済レベルが北欧諸国と同じ日本も、口腔保健に関して同じような結果を出したいものだ。「北欧モデル」の成功要因の

一つは、歯科衛生士と「デンタルナース」と呼ばれる人たちの活躍、そしてエビデンスに基づいた歯科医療の実践である。言わずもがな日本の臨床現場でも歯科衛生士の科学的な仕事も期待される。

本講演では、30〜40年先を行く北欧モデルの齲蝕予防の考え方と臨床に活かせる最新情報について解説する。また、日本がそこに最短距離で追いつく可能性と、その先に歯科衛生士の活躍や歯科医療の発展がどのようにひらけるのかを探る。

※会員も参加可能

# 【Zoom限定】6月度生涯研修抄録

# 訪問診療への取り組み

(デンチャースペース義歯)

大谷学氏 (東大阪市開業)

地域社会からの要望と日常診療に対する改心から、一般診療を行いながら訪問診療に取り組んできた。開業して9年目に特養の管理歯科医師になり、施設での口腔内の悲惨な状況を目の当たりにしながら途方に暮れていた。裏にもすがる思いで、全国訪問歯科研究会の加藤武彦先生・黒岩恭子先生のセミナーに参加し、両先生の患者さんへの思いと手法を学びその手法を学んだ。現在の口腔ケア・リハビリとしてデンチャースペース義歯によって、施設・在宅で患者さんの笑顔に出会える機会が多くなっている。

国は2025年までに地域包括ケアシステムを構築することを目標としている。高齢者が住みやすい地域で、その方らしい暮らしを最期まで継続できるように、歯科として今何が出来るか。診療所と訪問診療の二刀流だからこそ見えてくるもの、大切にしているものを紹介したい。

■地域全体で見守りながら、歯科の役割(最期まで口から食べる)を果たす取り組み。例えば、患者の身体的変化(プレレイル期に早期に口腔内に初発する)を見逃すことなく、地域包括・ケアマネジャーへ連絡するなど。

■在宅で即日義歯改造を行い、義歯辺縁形態と垂直・水平的顎位を定め、患者の昔の笑顔に戻すことによって最高の笑顔を取り戻す手法・手技と術者の喜び。

■施設での長期症例。近年増加するインプラントを装着する患者への対応・症例報告。またインプラント医への提言(地域内での今後の取り組み)。

※日時等は行事案内参照

# 無料相談

法律 6月6日(月) 午後2時〜4時  
 税務 6月15日(水) 午後2時〜5時  
 雇用 6月16日(木) 午後2時〜4時

※会場は保険医会館。1週間前までに要申し込み

# 医療接遇研修

日時 6月19日(日) 午前10時〜午後1時  
 会場 保険医会館5階 定員 20人  
 講師 吉田富貴子氏(接遇マネーインストラクター)  
 会費 3千円

# 訪問診療への取り組み(デンチャースペース義歯)

日時 6月19日(日) 午前10時〜午後1時  
 会場 M&Dホール  
 講師 濱島淑恵氏(大阪歯科大学教授)  
 会費 無料 定員 現地60人+Web

# 「ヤングケアラー」を知っていますか?

日時 6月12日(日) 午前10時〜午後0時  
 会場 M&Dホール  
 講師 濱島淑恵氏(大阪歯科大学教授)  
 会費 無料 定員 現地60人+Web

# 新規個別指導対策講習会&「歯初診」施設基準研修会

日時 6月11日(土) 午後6時〜8時  
 会場 保険医会館5階  
 講師 社保研究部講師団 定員 20人  
 会費 2千円

# Zoom限定 歯科衛生士向け・会員も参加可 北欧モデルの齲蝕予防の考え方

日時 6月5日(日) 午前10時〜午後1時  
 講師 西真紀子氏(NPO法人「最先端のむし歯・歯周病予防を要求する会」(PSAP) 理事長)  
 会費 5千円 定員 100人

# 医科・歯科協会共催 雇用セミナー

日時 5月21日(土) 午後2時30分〜4時30分  
 会場 保険医会館5階  
 講師 堀口正二氏(社会保険労務士)  
 会費 会員・家族無料 定員 20人

未入会者とは、会員院所に勤める未入会勤務医です。※協会行事などを本紙等で報道・紹介するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。

お申し込みは右のQRコードから協会行事予定の「お申込み」へ

